# 裝劍奇賞

諸工名譜（其二）

肆

139
7
209

~~東京圖書館~~
和書門
兵法類
二九函 一三九
一架 七
七冊
號 二〇九

ガラス使用

## 雕工名譜類字

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 元 乙ヲ | 好 九ウ | 市 十五ヲ | 友 十九ヲ | 蓮 廿二ウ | 彦 廿五ヲ | 勘 廿七ウ | 又 廿九ヲ | 五 卅一ウ | 補遺 |
| 盛 二ヲ | 定 十ヲ | 與 十六ヲ | 千 二十ヲ | 武 廿三ヲ | 榮 廿五ウ | 豊 廿八ヲ | 甚 廿九ウ | 新 卅二ヲ | 卅四ヲ |
| 國 五ヲ | 理 十ウ | 辰 十六ヲ | 勝 二十ウ | 源 廿三ウ | 三 廿六ヲ | 平 廿八ヲ | 庄 三十ヲ | 八 卅二ウ | |
| 富 六ヲ | 氏 十一ヲ | 金 十六ウ | 嘉 廿一ヲ | 高 廿四ヲ | 善 廿六ウ | 義 廿八ウ | 次 三十ウ | 時 卅二ウ | |
| 秀 六ウ | 壽 十三ヲ | 文 十七ヲ | 喜 廿一ウ | 仁 廿四ヲ | 傳 廿七ヲ | 儀 廿八ウ | 彌 三十ウ | 因 卅三ヲ | |
| 吉 七ウ | 一 十四ヲ | 永 十七ウ | 興 廿二ウ | 就 廿四ウ | 七 廿七ヲ | 典 廿九ヲ | 幸 卅一ヲ | 藤 卅三ヲ | |
| 良 九ヲ | 延 十四ウ | 自 十八ウ | 連 廿二ウ | 茂 廿四ウ | 貞 廿七ウ | 多 廿九ヲ | 半 卅一ウ | 美 卅三ウ | 巻之四 |

# 裝劍奇賞巻之四

浪華　稲葉通龍　新右衛門著

## 元元教

横谷氏稱新右衛門　水戸赤沼町住

菊の長兵衛弟子にて同く菊の名を揚し人之

## 元孚

大山氏　元教子

新右衛門と稱し赤城軒と號を水戸下町赤沼町に住人時又江戸芝邊にも客居をなし一およ武者を彫る事和漢ともに功者にして外賢人仙人などの類乗意風乃上手なり殊に寫しものをられぬあり其手際甚だ奇麗

ガラス使用

いまだ石菖蒲（セキシヤウブ）を盆中（ボンチウ）にやしなひて。靜齋（セイサイ）（シヅカナザシキ）に
れたるがごとし

元珍　古川氏　江戸馬喰町馬場住
吉郎次と稱す。初聖壽（シヤウジユ）といひて。判も如此なりき

元申　駒井氏　加州金澤桶町住
甚助と稱す。はじめ久清（ヒサキヨ）弟子。後勝木（カツギ）氏喜（ウヂヨシ）に
從（シタガ）ふ。其風さうそうとして上手なり

元常　井上氏

元春　江戸住

---

盛

盛良　桒村氏
與四郎と稱す。後藤顕乗弟子。加州金澤に住
す。上手なり。其彫むつくりとして鏨目（タガネメ）深し

盛勝　桒村氏　金澤住
又四郎と稱す。後（ノチ）ちゑはつと改め。又宗順（ソウジユン）をもつて。
古工の弟にて。覚乗弟子なり。其作奇麗にし
て和（ヤハラカ）なり。尤上手といふべし

盛弘　桒村氏　金澤住
治平と稱し。了由（レウイウ）をもつて。盛勝（モリカツ）弟にて。覚乗
弟子なり。其作兄におとらず上手なり

ガラス使用

通龍按ニ謚（シゲ）ハ般の字なるべし

**盛審**　桒村氏　金澤住

清四郎と稱ス。盛弘（モリヒロ）弟。演乗弟子。是又上手くし

**盛征**　桒村氏　金澤住

次郎三郎と稱ス。富久（トミヒサ）弟にして。古工弟子。其作されば其品（ソノヒン）高く。上手とすべし

**盛津**　桒村氏　金澤住

金四郎と稱ス。盛審（モリシゲ）子にして。程乗弟子なり。其作されいにして和（ヤハラカ）り。上手とすべし

**盛謚**　桒村氏　金澤住（謚の字詳ならず）

善次と稱ス。盛津（モリユキ）乃弟にして。古工乃弟子く。を照甚ご久年にして。賞せられきくり。是又父ろへにおとらざる上手なり

**盛明**　桒村氏　金澤住

治平と稱ス。盛弘（モリヒロ）子にして上手なり

**盛定**　勝木氏　金澤住　象眼工

半次郎（初與四郎）と稱ス。勝木氏お家。後（ノチ）越中富山（トヤマ）御細工人に扶持（フチ）せられ。上手なり。奇麗（キレイ）にして活（クワツ）機（キ）あり

**盛定**　勝木氏　越中富山住

半次郎と稱ス。父におとらざる上手なり

ガラス使用

**盛國**　正阿弥　豫州松山住

鉄に雲龍の縁頭鍔などあり。鏨（タガネ）奇巧に密（ミツ）なる細工なり

**盛直**　奥州仙臺住

**盛定**　加州金澤象眼工

與三右衛門と称す。承應（ジヨウオウ）の比。伏見より加州へ来る。禄五十俵をうくる。勝木甚[illegible]郎祖父なり

**盛定**　同上

與四郎と称す。同ク加州象眼師なり

**盛定**　同上

同ク與四郎と称す。加州象眼師なり

**盛光**　金澤象眼工

勘右衛門と称し。後彫物師となる。其工瀟洒（セウシヤ）（サツハリ）にして上手。富山（トヤマ）侯（カウ）の細工人となる

**盛光**　盛定弟子家

八左衛門と称す。加州金澤象眼工なり

**盛次**　同上

源左衛門と称す。同ク金澤象眼工なり

**盛平**　同上

伊左衛門と称す。同ク金澤象眼工なり

ガラス使用

盛國　盛定弟子家

藤なおつと称す加ね金作象眼工なり

盛國

俗称等同上ニ後鍔工となる

國治　京佛光寺烏丸西へ入町住　後改ム治國ト

俗称鉄屋傳兵衛といふ鉄原堂師匠なり

國正

京師の住姓氏未詳

國吉

京はれ住姓氏未詳（平戸住人ト銘アリ又京師國重ト云銘モアリ偽銘（ニセメイ）ニヤ詳ナラズ）

國重

真鍮銅四分一などに初て紅夷（ヲランダ）画（ヱ）に龍などを彫（ほり）出して一流となれり

國長　植村氏　京御池通富小路東へ入町ニ住

ガラス使用

俗称升屋九兵衛といふ。四代先（サキ）野田忠左ほつ弟子なり

國永　加州金澤住

次郎作と称す。其姓未詳。寛永の頃の人。加州より五拾俵をうける。象眼工なり。彫物ハ後藤琢乗に学（マナ）ぶと

國久　十左衛門（國永子）

國廣　与右衛門

右次郎作弟子家

國安　与三左衛門

國久　十左衛門

國久　与右衛門

平國　三右衛門○名ノ頭。類字ニアラ子ド。其類ヲ以テ此ニ列ス

國平　喜兵衛

國政　与三右衛門

國忠　権左衛門

右並に加州金澤象眼工なり

國平　与三右衛門

國長　八左衛門

富久　桒村氏　加州金澤住

小四郎と称す。盛良が子にして程乗弟子なり

富祐　植村氏

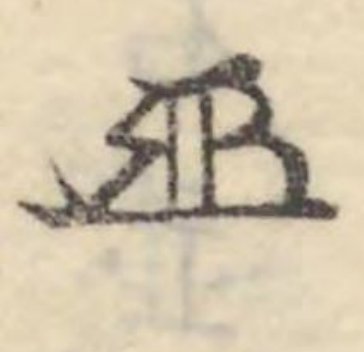
佐兵衛と称す。植村高房同居の弟子なり

ガラス使用

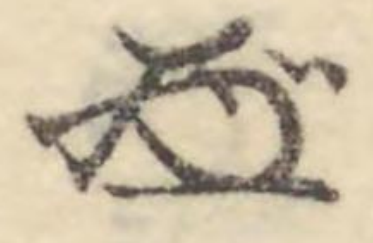
秀典　喜多川氏　江州彦根住

彦根彫ノ初・後ニ宗典ト改ム　京師八幡町ノ産

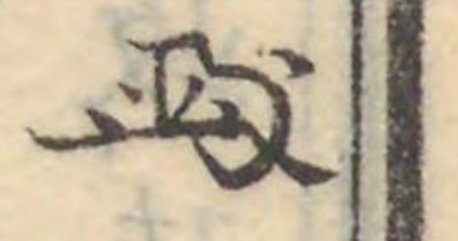
縁頭鍔小刀柄等に・彦根彫と称して一風あり・鈉子など精(クハシ)からずして・縁の地金うすく・山高からねども谷へ能(よく)く鏨ゆきとゞきて・をゞてざんぐりとしたるものなり・彦根彫とて見しる中に・此人の殊(コト)にまぎれありと見へたり（彦根御家中川北氏此人を抱へとなりて氏を喜多川と改と）

秀随  江戸住

矩(ノリ)随(ユキ)風(フウ)ニ、肉合彫(アヒボリ)なり・俗称姓氏未詳(ナラ)

秀永  大森氏

江戸に住す

秀元 

倶利迦羅(クリカラ)龍・十足獅子の形を小刀柄に彫(ホリ)し人之

秀知

俗称姓氏未詳(ナラ)・江戸の住

秀房

同上ニ　植村氏　京師住

秀次

伊兵衛と称す・植村高房同居の弟子なり

ガラス使用

吉十郎　玉川氏

实名未詳。美久（ヨシヒサ）弟子なり。常州水戸に住す。其作奇麗にはあらざれど國風（クニフウ）をよく修行（シユギヤウ）して。甚上手なれども。世普（アマネ）くしらずて惜（ヲシ）む

吉定　後藤氏　加州金澤住

才次郎と稱す。清二郎弟にして上手なり

吉寛　山本氏

俗稱未詳。江戸の住

吉政

政随風なり。俗稱未詳。江戸の住

吉久　正阿弥

平助と稱す。作州津山に住。上手なり

吉次　赤尾氏稱小兵衛ト（元祖ハ越前ノ人）　江戸下谷池之端ニ住

赤銅にをかし鍔（ツバ）を工夫して。名を得る人也。是又一流といふべし

吉長　赤尾氏　江戸住

吉重　加州金澤住。姓氏未詳。此末流のものハ。やがて吉重（ヨシシゲ）をもて氏とし。吉重何某など稱す。今猶之あり。五郎作と稱し。其兄を次郎作といふ。並に実名をよくす。世にこれを五郎作彫（ボリ）次郎作彫と稱して。加賀彫に元祖（グワンソ）にて。甚だ上手なり。繪（ヱ）を金森宗（カナモリソウ）

ガラス使用

和君の画工宗佐といふ者ありと、寛永の頃加州よばる。侯より五十俵賜たまへり

吉則　庄九郎

吉國　孫右衛門

吉國　長右衛門

吉次　八大夫

吉平　（善右衛門／吉重弟子家）○以上共に加州金澤象眼工なり

吉長　美濃住

吉兵衛　植村氏　京柳馬場二條上ル町ニ住ス

俗稱升屋吉兵衛といふ。宗峯弟子なり

吉兵衛　山氏　尾州住

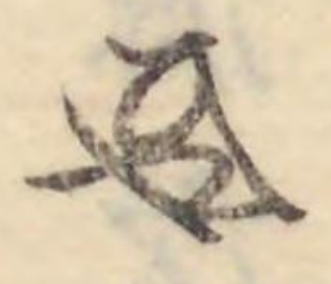
冶鉄鍔名人

吉重　江戸住

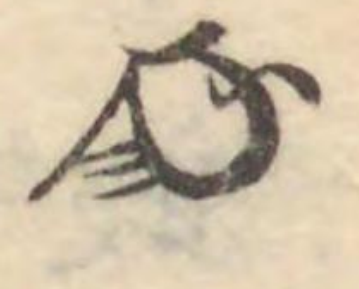
---

良弘　栗村氏　加州金澤住

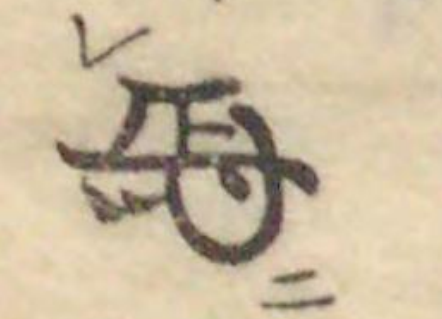
與三之丞と稱す。克久弟子にて古工養子となる。上手なり。其彫奇麗にしてやさしきなり

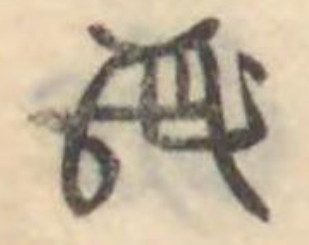
良克 　稲川氏　江戸神田永富町住

直克子にて其彫柳川直政を擬して父の作に尤よく似たり

良寛 　岩本氏　江戸麹町住

昆寛父

俗稱忠右衛門後与八と改を一ニ花押作  ニ

良榮 　鈴木氏　江戸四ッ谷鮫ヶ橋中町

俗稱金右衛門但岡村良榮又ハ鈴木寛次とも銘を

良堯　江戸住

ガラス使用

良光 青柳氏稱榮五郎 江戸神田住
良克弟子

良邦 大月氏 京師小川夷川住
市川彦助二十一世ノ孫ト云ヽ

良久 梅忠氏 同上ニ
小鍛冶（コカヂ）末葉（マツエフ）二十二世と云ゝ梅忠（ムメタダ）橘（タチバナノ）某（ナニガシ）と銘（メイ）を

良盈 姓氏未詳 京師ノ人

好榮 水野氏 加州金澤住
源次と稱を演乗弟子甚上手なり

好春 長谷川氏
孫右衛門と稱し江府横山町壹丁目に住す其
初ハきせるの毛彫師なり

定勝 種田氏 加州金澤住
吉之丞と稱す演乗弟子上手なり奇麗なる
ほりしき彫なり

定時 姓氏未詳 俗稱平八 加州金澤住 象眼工
寛永年間三百石ヲ賜

定好 江戸住
俗稱姓氏等詳ならず

定景 新右衛門 定次 吉六郎
右並に加州金澤象眼工なり

定寧 姓氏居住等未詳

定義 姓氏未詳 長常弟子 城州山科住
上手

ガラス使用

**理房**　一ニ云理啓　島田氏　越中富山住

見ニ（ケン）庄次郎と称し勝木盛定弟子上手也

**理直**　島田氏　越中富山住

見水（ケンスヰ）庄大夫と称す上手く鏨れ跡（アト）さつそうと
して見事なる彫なり

**理玄**　奈良氏　江戸住

**理啓**　姓氏居住等未詳　前ノ島田氏トハ別人

**理房**　藤木氏俗称幸八　江戸京橋住
後藤寿乗弟子　上手

京都藤木流泉三男弱冠（ハタチバカリ）の頃江戸に赴き武島一寿
養子となり後本姓に復（フク）す

**氏安**　勝木氏　加州金沢住

権吉と称す演乗弟子なり

**氏春**　勝木氏　加州金沢住

宇兵衛と称す氏安弟なり後　富山侯御抱（カヽヘ）
となり姓を若林（ワカバヤシ）と改む上手なり奇麗にしほら
しき彫なり

**氏廣**　勝木氏　同上

**氏春**　若林氏　越中富山住　氏春子

吉郎兵衛と称す氏春弟也鈉子の名人

**氏家**　勝木氏　加州金沢住

ガラス使用

権大夫と称す。象眼工なり。寛永の頃、伏見よりまはり彫物を顕乗に学ぶと（拾五人扶持拝領と云）

氏家　同上

市兵衛と称す。象眼工なり

氏家　同上（加州御細工人）

同く市之進と称し。象眼工なり。後に姓を金子とあらため彫物師となる

氏屋　同上

市郎右衛門と称す。氏家か弟。象眼工にて、彫物をも学べり。本家を相續す

氏喜　同上

市之丞と称す。彫物は上手なれとも奇麗にはあらしき作なり。是も本（モト）は象眼工なり

氏宣　同上

武之進と称す。象眼工なり。永清の弟

氏永　喜兵衛

氏次　六郎

氏賢　覚之丞

氏吉　権之丞

氏次　圓七（後彫物工となる）

氏長　喜兵衛

氏清　覚兵衛

氏宗　三郎

氏平　八郎兵衛

氏安　吉郎兵衛（氏宗弟）

ガラス使用

氏安　吉郎兵衛

氏安　権吉　後彫物師となる

氏照　吉郎兵衛　彫物師となる　氏春弟之

氏忠　八太夫

氏安　吉郎兵衛

氏照　若林氏春と改彫物工と成　権吉弟なり

氏信　氏屋弟子

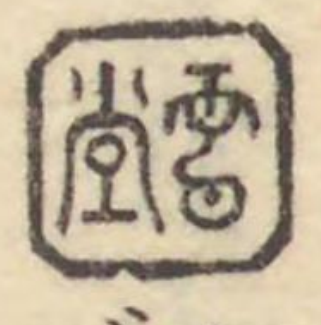
氏咸　治兵衛

右並ニ加州金澤象眼工なり。其姓勝木。或（アルヒ）ハ若林等（トウ）詳ならず。猶（ナホ）他姓（タミヤウ）の人も入りまぜあらんまや。くはしくハしるしがたし

氏直　称ニ正阿弥市左衛門ト　阿州徳島住　京師正阿弥弟子　阿波象眼鍔ノ始

氏安　平田氏称ニ與八郎ト　阿州徳島住　象眼工　氏直子

壽孝[illegible]　武島氏　江戸住

壽斲　　俗称姓氏居住等未詳。斲ハ朝ノ篆字。朝ノ省文ナルベシ

人形ものの肉合彫。象眼きれいにて。水戸彫のごときものなり

壽永　奈良氏　江戸神田御玉が池ニ住ス

善三と称ス。利永（トシナガ）弟子なり

壽秀　保井氏　京都住

俗称柏屋平右衛門といふ。虎平弟子にて。古川佐兵衛弟子なり

壽方　池田氏　薩州住

ガラス使用

壽昌 （俗称姓氏居所等未詳）

壽軌 江戸住

姓氏俗称未詳雲梯堂と號すによだゝき彫なり岩洞に獅子など彫に又筆にいさぎよし赤銅地が○よく色絵ゑてりとしてよし

壽春 江戸住

---

一 壽 武島氏

藤太郎と称す。後に通乗弟子となりて名人なり

一 隣 鈴木氏 江戸住

一 賀 山崎氏 京御霊通次（ツ）に住 現在

仁太郎と称す同名五代各上手なり（其先後藤就乗弟子）

一 保 （姓氏未詳） 尾州名古屋長島町住

六郎兵衛と称す。京師升屋小兵衛弟子

一 宗 阿田氏 薩州住今ヨリ六十年許（バカリ）已前ノ人なり

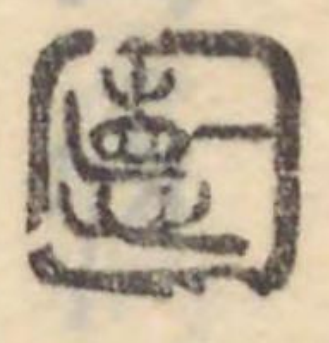
一 葉軒 京都住

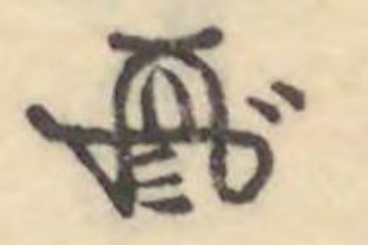
姓名等すべて詳ならず。彫ハ奈良風なり

ガラス使用

一之　澤氏　貫齋ト號ス　居住未詳

一保　姓氏未詳　大坂内本町善菴筋西ヘ入
俗稱井筒屋文治越俊(エツシユン)齋(サイ)と號す

一德  辻氏稱源太夫ト號藍水堂ト　江州國友村住

一高  姓氏未詳號松榮舍ト　江戸住

延常　姓氏未詳　武州玉川稻毛ニ住

延秀　熊木氏　京富小路押小路下ル
俗稱八文字屋市郎兵衛といふ鑄(イ)ざくへ上鍍金(メツキ)の師なり

市右衛門　後藤氏　加州金澤住
実名未詳後藤顯乘弟子にて上手と賞(シヤウ)せらる作なり其彫奇麗品(ヒン)も亦高し

市左衛門　福井氏　同上
実名未詳後藤悦乘弟子なり其作を見るに甚(ダ)きびしく古色(サビ)にて上手と稱すべき彫し

市郎右衛門　田中氏　薩州住
実名未詳江戸後藤家弟子にて今より八十年所(バカリ)已前の人にて上手なり

市平　大月氏　尾州名古屋末廣町住

ガラス使用

市郎兵衛　山田氏　肥州長崎住
実名未詳。廣東（カントウ）錺乃彫工なり

市右衛門　津田氏　京都住
世に津田縁頭と云是なり。地磨無銘にして水に
鷺（サギ）さしに簾。秋の野に馬。小草（ヲグサ）に牛等。なと志るし
風韻（フウヰン）（オモムキ）あり

市郎左衛門　川上氏　阿州徳島紙屋町住
川上半十郎子なり

與市　大森氏　初メ重光ト云　江戸浅草ニ住

與兵衛　植村氏　升屋ト呼（ヨブ）　京御幸町二條下ル所
宗峯弟子

辰政　奈良氏　江戸神田住
忠左衛門ト稱ス。利永（トシナガ）弟子

辰房　奈良氏　江戸住
金平ト稱ス。祢五八弟子なり

辰尾　丹州西亀山ノ人

ガラス使用

金家　其姓未詳　伏見住

山水或彫（ホル）事一流之。或（アルヒ）ハ芒（スキ）に小鳥なとの景色（ケシキ）甚（ダ）し
まる。それかりむき下絵等おくゆかしう巧（タ）めり。む
かし宗砌（ソウゼイ）法師三井寺に遊びて。ゆふぐれに海を
ミしあることのまゝに口称（クチズサミ）しとかく。琵琶（ビワ）乃淼（ヒヨウ）
漫（マン）々るをおかしさまにてりのせず。木間（コノマ）ようと。あふが
ちるに巧（タク）なる。風雅（フウガ）の旨（ムネ）をしらるとらよべし。今金家
の工（タクミ）も此致（ムネ）をおびて。漸（ヤウヤク）にまう賞残益（マス）りの。名工乃
庶幾（ソキ）まる所といへし

金七　土屋氏　加州金澤住

実名未詳　桑村克久（カツヒサ）弟子にして。上手なり

金敦　高尾氏　加州金澤鍵町住

吉たはつと称す。甚七の孫にて。梅村甚三郎の
弟子なり。奇麗にして雅致（ガチ）（ヤサシミ）あり上手

文水　吉田氏　京近衛殿北口町ニ住

藨秉弟子初メ野村六兵衛ト称ス
名人なり。但（タヾシ）一生銘（メイ）を切（キラ）ずして。若（モシ）銘あるものハ贋（ニセ）し

文治　實名姓氏共ニ未詳　尾州御金具師

上手なり

文次郎　三文字屋ト云　京御幸町姉小路上ル

ガラス使用

**永峯**（姓氏未詳　京綾小路ニ住）

次郎三と稱す。其父を永峯といひて。初ハ冨小路押小路上ル所に住せり。其彫技見るに。甚だ奇麗にして細密なる事に妙なり。殊に武者人形など。其目ひげふくろて。面貌まで備るに住まう。ほかにいふべくもなし。巧なりむべなるかれて名を揚られし事

**永清**（勝木氏後田澤ト改　加州金澤象眼工）

氏屋弟にして。加州の御細工人上手なり。凡加州の象眼工ハ。其はじめ前にいふごとく。伏水より寛永年中移住ありて。侯より御扶持を下されけるより。次第に其家さかえ。其弟子続きて。今數家にわかれ。左に列するもの。みな象眼工なり

永政（三郎右衛門　百五拾石ヲ拜領ス）　永重（四郎三郎）

永次（弥左衛門）　永國（弥左衛門）

永次（弥左衛門）　永次（弥左衛門）

右小市氏なり。已下姓氏未詳

永良（勘右衛門）　永良（勘右衛門）　永久（七兵衛）

永久（源左衛門）　永信（六右衛門）　永信（吉大夫）

永吉（長左衛門）　永吉（喜内）　永清（勘六）

ガラス使用

永定 次助

永次 豊次

永光 半兵衛

永光 豊平

自厚 上村氏 加州金澤塩屋町住（厚ハ厚ノ字ナルヘシ）

彦左衛門と称す。後藤友清弟子なり

自立軒 三宅氏 名ハ英充 江戸京橋南傳馬町二丁目住（宗與弟子 毛利侯御抱トナル）

此人はじめハさして称すべき工（タクミ）ならざりしを。児島氏（江戸人委附録ニ出）見（ミ）る所（ドコロ）ありと。其志を勵（ハゲマ）し。今已（スデ）に名人と呼（ヨバ）るゝまでなり。其工ハ後篇に評すべし

---

友清 上村氏 加州金澤住

彦左衛門と称す。桒村宗順弟子。上手なり

友重 辻氏 加州金澤象眼工

助九郎と称し。辻山城守弟子也。寛永年中伏（フシ）見（ミ）よりきたる

友次 同上 同上

三郎左衛門と称す。上手なり

友次 岡本氏 長州萩府住

藤左衛門と称す

友恒 中井氏（称ニ善助ト） 同上 鍔工ナリ

友清 八道氏 同上

市平と称す

ガラス使用

友直　河治氏　同上ニ鍔師ナリ
六右衛門と称す

友房　畑氏　作州津山住

勘平と称し。父を勘七といふ。堆朱彫その外。木彫の目貫小刀柄の類を作る事。甚だ其事に上手なり。塗師もよくせられし人也

友善　平野氏　常州水戸八丁目曲尺手町ニ住
保平弟子　本藩御用工ナリ

伊左衛門と称す。はじめは両介といふ。上手にしてすべて水戸風は其品高きといふにはあらず。只よ残こめていふにも結構に仕立て。えらむものとして。それごりありけるを残得心させるまでよくそのひとろ

細工にて。紅梅のさうなるに。其色はおとらねど。その香はおよばざるがごとし

友喜　野村氏元祖

俗称未詳　江戸の人なれども。阿州よりめされし彼藩にありて。彫工御用をつとむひと

友善　一柳氏　水戸曲尺手町ニ住。今江戸東叡山邉ニ寓ス
二代目也　名乗ハ父ト同シク氏異ナリ　辻政親ヲ師トス

友道　平野氏称ニ三右衛門ト　水戸曲尺手町住
友善二男

千友　千代氏　作州津山住
忠助と称す

千川堂　姓名居住等未詳
銕刀木・櫚木等。木柄師なり

ガラス使用

**勝尹** 藤田氏 大阪住

俗称未詳。面盡（メンヅクシ）或ハ章魚（タコ）など彫るもの多く見しなり

**勝次** 中川氏 作州津山住

助三郎と称す。三十二歳にて死すと云

**勝久** 同上 勝助と称す 同上

**勝正** 同上 安兵衛と称す 同上

**勝光** 姓氏未詳 京都住

**勝國** 篠崎氏称藤九郎 水戸白銀町住 上手ナリ

保平（ヤスヒラ）の子にして弱冠（ジヤククワン）より父を喪（ウシナ）ひ。先友善を師として上手なり。水戸風のうちの傑（ケツ）たるもの也

**勝五郎** 姓名未詳 上州新田郡大田宿住

其彫。鍬（クワ）形をよくせず。実（ジツ）をむねとして仕立がなく。ありふれずして雅致（ガチ）あり。尤（モツトモ）賞すべき上手なり

**嘉量** 苗邑氏 居住等すべて未詳

**嘉兵衛** 毛利氏 江戸両國駒留橋住

実名未詳 柳川直光弟子

ガラス使用

**喜左衛門**

（其姓未詳。若芝ト號スルヲ以テ姓ノ如クナシテ。若芝喜左衛門トイフ。俗ニジヤクシヤウトイフ人アルハ誤レリ。）

肥前長崎ノ人

唐画山水遠景人物或ハ風竹又蟠龍など。渇筆写意の趣を擬して。蕭索として古色ある筆にてこれなり。一流と称すべし。後人これを仿ひ偽作するもの多し。されども。其気象におよぶものなし。すべて其偽まがひものは。凡に似たる筆にして。若芝々ととなへ来る事。手柄とすべし

**喜寛**

野田氏　江戸住

奈良安親弟子

宇八と称す。さながらよくみゆれど。まだつたなき作なり。上手と賞せらるべき彫なり。藻魚尽に工之

**喜世三郎**

津田氏　加州金沢住

実名未詳　奈村盛明弟子

**喜兵衛**

尾崎氏　京畠山町住

江戸なる喜右衛門。孫左衛門と改るによって。喜右衛門と改む

**喜安**

中路氏　京師住

俗称未詳。大躰の作なり。彫刻する赤銅多く筍の目貫などみえしきり

**喜兵衛**

井上氏　京麩屋町二条上ル町。三文字屋ト云

**喜暉**

姓氏俗称等未詳。亦不知何許人ナルヲ

ガラス使用

喜八　丸山氏　京上立賣室町東ヘ入所ニ住

喜七　藤木氏　京柳ノ通次ニ住

喜三郎　中路氏　京師人
清水弥兵衛弟子小刀柄笄下地工

喜兵衛　磯野氏　京御幸町御池上ル
升屋小左衛門子

興成　堀江氏称弥十郎號ニ一枝軒ト　江戸西紺屋町住
尾崎孫左衛門弟子ニ分　若年まて上手也し

興道　時岡氏　上京寺ノ内大宮東ヘ入所ニ住ス。柏屋ト云フ
興ノ字銘ニ奥ト切ル同字ナリ
康助と称す。保井（ヤスイ）寿秀（ヒデ）弟子

連容　武工連容と銘す。俗称居所等すべて未詳

蓮澄　片岡蓮澄道人と銘す。俗称居所等すべて未詳

---

武禅斎　墨江氏　名寛　心月ト號ス　大阪船町住
浪華船頭与兵衛作ト銘スルアリ。後荘蔵ト称ス。今祝髪ス
毛彫の上手にて一流の彫なり。画をよくし画を以て名あり。故に下絵（シタヱ）自由にて一入見事なり。宗珉風にもあらず。家風にもよらで。風流なる彫也

武教斎　久保氏　江府住ト銘ス江戸浅草並木ニ住ス。後
京師ニ住セリ
金兵衛と称す。後重基（シゲモト）と名乗る

武道　京師住
宇兵衛と称す。鉄屋伝兵衛治国（ハルクニ）弟子なり

ガラス使用

源八　水野氏　加州金澤住

名乗未詳好栄(ヨシヒサ)子なり。此人早世(サウセイ)をとげられし。聲誉(セイヨ)あり。其弟源七も夭折(エウセツ)まて。共ニ上手なりしを。遺憾(ヰカン)少からず

源左衛門　後藤氏　作州津山住

実名未詳。はじめ與四郎といふ

源兵衛　植村氏　京御池通寺町西へ入所ニ住ス　升屋ト云フ

実名未詳。宗峯弟子

源助　正阿弥　備前岡山住

高廣　保井氏　京都住　柏屋ト云フ

平右衛門と称す。池柳軒(チリウケン)と銘あり。壽秀(トシヒデ)子し

高長　保井氏　同上　柏屋ト云フ

虎平と称す。風香(フウカウ)と銘あり。早世(サウセイ)を。高廣子なり。

古川佐兵衛弟子

高房　植村氏　京御池麩屋町西へ入

俗称升屋九兵衛といふ。宗峯(ムネタカ)長子

仁兵衛　宗田氏　京都住　納子又白銀工

仁左衛門　同上　同上　同上

ガラス使用

**就受** 埋忠氏 江戸湯島住

加治右ゑ門と称す。一流にて、金四分一地金（チガネ）よく鍍金（メツキ）もあつくかけて、さうゑがしなど舊（サビ）ありて、賞（シヤウ）をほまれとなり。加治右ゑ門と名を揚（アゲ）られし事、手柄とすべし

**就方** 同上 就受子

**茂周** 町田氏 称二金蔵一ト 江戸京橋住 （父ヲ茂周ト云ヒテ宗與ガ弟子ナリ）

**茂則** 則 姓氏未レ詳 称二市郎兵衛一ト 江戸品川住

**茂保** 井上氏 京都住

文次郎と称す。三文字屋三郎右ゑ門乃末なり

---

**彦四郎** 平田氏 江戸湯島六丁目

御七寶工

今七寶（シツハウ）と称するものハ、はじめ海外（イコク）より来る所にして、七寶とハ此方にて名付しにて、正名（セイメイ）（ホンノナ）あるものなるべし。隋帝（ズイテイ）の七寶碗（ワン）といへるハ、七種（シユ）の寶玉なるべし。所謂（イハユル）七寶とハ、金・銀・琉璃（ルリ）・頗梨（ハリ）・車渠（シヤコ）・瑪瑙（メノウ）・珍珠（シンジユ）乃七種をいふ。但（タヾ）し此七種をあつめて工（タ）めると、おほよそ成りて、七寶と名付るや志らべされバ、近世我邦（ワガクニ）に於（オイ）てこれを作る人多しといへども、すべて此人におよぶものなし。此人の作る所、舶来（ハクライ）（カラヨリキタル）のものにもまされりといへり。奇工（イユウ）（スグレタルサイク）といふべし

ガラス使用

彦四郎　若林氏　越中富山住

実名未詳。隔水子（カクスヰシ）として上手し。こうちの一名家（イチノイカ）といふべし

彦左衛門　後藤氏　作州津山住

実名未詳。上手なり

彦助　市川氏京師ノ人。世ニ彫物ノ元祖ト云。詳ナルコトハ後編ニ論ゼリ。故ニ此ニ畧ス

榮藏　姓名未詳　阿州徳島紙屋町住

榮次　同上　江戸住

---

三郎左衛門　黒瀬氏　京上立賣烏丸西へ入町ニ住

実名未詳。後藤采女（ウネメ）益信（マスノブ）の兄。清乗光長の弟子也

三郎右衛門　山中氏　後藤益乗弟子

其彫甚さえ事にして。上手といふべし

三郎左衛門　井上氏　京都住

実名未詳。三文字屋の元祖にして。一流の彫物師なり。御池彫（オイケボリ）といふ。蓋（ケダシ）京都御池通に住を

三友　姓氏等未詳　江戸住

三郎兵衛　後藤氏　京師住　上手

ガラス使用

善四郎　結知氏　按ニ結知ノ字。姓氏ニテイカヽヨムニヤ。未詳。
　薩州ノ人　京後藤弟子ニテ顕乗ノ時代ト云

善長那　古川氏　京師人
　上手ナリ
　佐兵衛と称して。後藤隆乗弟子なり　初ハ野田忠左門なる者（モリ）の弟子と

善兵衛　知機（チシキ）氏　薩州人

善敦　藤木氏　京都住

善五郎　齋藤氏　大坂瓦町御霊筋角
　木彫（ボリ）まて目貫鍔なとを作（ツク）る。又上手なり。又堆（ツイ）朱（シユ）彫もよくしたり

傳三郎　金子氏　越中富山住
　後藤通乗弟子

傳七　正阿弥　羽州秋田住

傳十郎　後藤氏　越前片町住
　子モ同ク傳十郎ト云

傳八　宗田氏　京師住
　徳直弟子　納子師

傳兵衛　中村氏　京室町上立売下ル所ニ住ス
　清水弥兵衛弟子

傳三郎　横谷氏　名ハ友武
　當代宗珉弟

七郎兵衛　川村氏
　後藤覺乗弟子

七兵衛　姓名未詳　京富小路松原下ル所ニ住ス
　象眼師にして。甚ゞ上手なり。因（ヨツ）て世ニ象七と呼（ヨバ）れて。其名聞えたり

ガラス使用

貞

貞歴　駒井氏　加州金澤住
甚右衛門と稱す後藤久清弟子なり

貞次女　藤田氏　江戸住

貞隣　姓氏未レ詳　同レ上

貞芳　同レ上　阿州人

勘

勘平　西垣氏　同レ上

勘四郎　同上　勘四郎子

勘左衛門　同上
右共に肥後國住代々相續す

豊

豊前　吉岡氏　江戸両國柳橋住
御金具工
因幡介父にして上手なり鏨（タガ子）の痕（アト）さらりとして勢ひあり奇麗にしてしほらしき風なり

豊光　後藤氏　加州金澤住
松三郎と稱す光章（ミツマサ）弟なり能登（ノト）後藤末流

平

平右衛門　保井氏　京都住
柏屋の元祖なり上滅金物細工人

平助　正阿弥　作州津山住
実名未レ詳初メ平七といふ吉久子なり

ガラス使用

義次　埋忠氏　播州明石住

義局　吉川氏　居住未詳

義休　加藤氏　京富小路八幡町住
治々濤と稱す。古川善長（コレナガ）弟子なり

義克　中川氏　甚兵衛と稱す　作州津山住

義随　檜山氏　上手ナリ　號田龍齋　江戸住

義光　金子氏　號怨元ト　吉之丞六代孫　紀州住　上手ナリ

儀長　清水氏　弥兵衛と稱す　京風爐通次（ツレ）住　下地師

儀右衛門　木村氏　京後藤勘兵衛弟子　京都住

典昌　荒井氏稱小三郎ト　江戸横山町三丁目住
荒井典容の子にて。さんぐうとしなる彫し。縁頭又鍬（クハ）小目白（メジロ）れ杉しあひ。或ハ南瓜様（ナンキンフリナリ）のそどかなど乃作。甚だおもしろし

典休　葛野氏
清次と名乗（ナノリ）。後藤光孝弟子

多光　水野氏　加州金澤住
源六と稱す。照喜（テルヨシ）弟なり。水野氏これより別る（ワカ）

多兵衛　尾州名古屋元重町住　象眼工

ガラス使用

又兵衛　宗田氏　京師住
鮒子師・彫（ホリ）鮒子ノ元祖ナリ

又左衛門　同上　鮒子師　後入道シテ道清ト云

又兵衛　同上　鮒子師　後入道シテ道意ト云

又七　姓氏未詳　尾州名古屋住

又三　同上　鍔工上手　大坂常磐町骨屋町住

甚右衛門　後藤氏　能州七尾住
实名未詳・琢乗弟子にして上手と聞え有り能登後藤といふ是なり・後加州金澤に住

甚七　高尾氏　加州金澤住
实名未詳・若林氏春比風を学ぶ

庄左衛門　野村氏　後藤昌乗弟子　能州七尾住

庄兵衛　後藤氏　能州七尾住
实名未詳・甚右衛門弟なり・琢乗弟子にして琢乗京へ帰（カヘル）にしたがひて・京師にも留（トヾマル）・尾州紀州にも寓居（グウキヨ）せし事あり

庄兵衛　後藤氏　尾州名古屋住

庄三郎　姓氏未詳　常州水戸住

庄兵衛　佐々木氏　京師住
实名未詳上手なり

庄右衛門　京後藤勘兵衛弟子
小山氏　京金安町住

ガラス使用

次大夫　小澤氏　加州金澤住

実名未詳後越中富山御抱の細工人となる

次大夫　同上ニ　越中富山住

次三郎　玉川氏　美壽子　常州水戸住

次郎兵衛　石川氏　江戸神田住

次左衛門　後藤氏　上手　上京住

弥兵衛　岸本氏　現在　京元誓願寺掘川ニ住ス

実名未詳京後藤七郎右衛門弟子上手也

弥市　姓氏未詳　尾州名古屋住

弥右衛門　中村氏　京御霊通次　京後藤七郎右衛門弟子

---

幸左衛門　加場山氏　薩州鹿子島住

幸次　三角氏　彫物上手　肥後八ツ代住

幸良　奈良氏　奈良正敷弟子一ニ幸芳トモ切　江戸浅草三間町住

幸光　姓氏未詳　江戸住

清乗の風を擬して雲龍なと線彫する也

幸七　磯部氏　京上立賣室町西ヘ入

幸助　井上氏　清水弥兵衛弟子　京新町一條下ル所ニ住ス

幸右衛門　苗村氏　一條平井弟子　京烏丸今出川上ル所ニ住ス

ガラス使用

半七　知機氏　薩州住　善兵衛子ナリ

半十郎　川上氏　阿州徳島紙屋町ニ住ス（名ハ晴ト一字、銘ナリ父ヲ英ト云）

彫物白銀師ともに甚だ上手なり

半助　河野氏　同上ニ（元祖河野半兵衛ト云テ栗山左源太ノ弟子ナリト云）

半藏　右半助弟子ナリ

五郎兵衛　井上氏　京数屋町二條下ル所ニ住（三文字屋ト云フ）

五郎兵衛　姓名未詳　大文字屋ト云（京柳馬場六角下ル所ニ住ス）

鍔工なり其屋號を合せて世に大五郎鍔と賞せり。秋の野に蟲畫或ハ紋づくし。又ハ霞に千鳥などの小透乃鍔を彫事。甚だきれいにして見

事なり。一流ともいふべし

五郎右衛門　鶏飼氏　大阪追手筋善菴筋西ニ住ス（釜調ニ毛彫等ヲ教シ人ナリ）

新吾　平田氏　阿州徳島紙屋町ニ住ス象眼師（市左衛門弟ニテ名ヲ長秀ト云）

新助　平田氏　同上ニ　同上

新七　姓氏未詳　彫物屋新七ト云（大坂追手筋善菴筋西入所ニ住ス）

釣竿に年魚の目貫小刀柄等ノ作おもしろし

ガラス使用

八兵衛　齊田氏　京武者小路室町西ヘ入住
後藤益乗弟子ニテ名人ナリ
八郎兵衛　藤田氏　加州金澤住
宗房弟
八左衛門　平井氏　京一條西洞院西ヘ入所ニ住ス
八郎兵衛　後藤氏　上京住
上手
時定　姓氏未詳　加州金澤住
平八と稱す。寛永の頃、伏見より來る。祿二百石
時秀　加藤氏　京師高倉姉小路上ル所ニ住ス
治助と稱す。義休（ヨシヤス）弟子なり

因幡　吉岡氏　江戸両國柳橋住
甚だ上手にして。其名高し
因幡介　吉岡氏　同上ニ　現在
豊前子にして上手なり。家風に似るがごとくしてしをらび。色絵など金を施（ツカ）す事拙なし。所謂（イハユル）こってり仕立にて。あざとき事也。八重（ヤヘ）山振（ヤマブキ）乃花れゆゑへハことにほひ濃（コマヤカナル）がごとし
藤兵衛　八木氏　京御灵辻子住
清水弥兵衛弟子
藤七　姓氏未詳　京富小路二條下ル所ニ住
升屋喜兵衛弟子

ガラス使用
藤右衛門　同上　京麩屋町押小路上ル所ニ住
升屋忠左衛門弟子

美壽（玉川氏　浅草ニ住セリ）　常州水戸府鍛冶町ニ住後江戸ヘ至リ

三郎四郎と稱す。谷田部通壽弟子後吉岡因幡介を師とす。水戸様の扶持人なり。江戸へ至りても彼の扶持を下されしとやきこえ。上手なり

美久馬（玉川氏　美壽甥ニシテ弟子ナリ又通壽ニ従フ）　常州水戸鍛冶町裏五丁目住

太七と稱し如英軒と號す。此人龍を彫に上手なり。およそ工人の龍を作る事ハ。必ず其勢を尚（タットブ）ぶにあり。昔（ムカシ）葉公（セフコウ）竜を画（ヱガ）く事をこのみて。其室中ことごとくこれを画しを。真龍（シンリヨウ）きゝて天より下りきたれば。葉公みて大におそれ逃（ニゲ）まどひしと。荘子に筆（ヒツ）せられしハ。葉公の好む所（トコロ）ハ生の龍にあらず。画龍也。画龍にして勢（イキホヒ）あるを工（タクミ）の活動（クワツドウ/ハタラキ）とす。今彫工に於（オイ）てもしかり。其拙のハ彫琢にありて。龍になるにあらず。よく勢を得（エ）さ体を。工人（ニウジン）の真龍といふべし

七郎兵衛（後藤氏　上手）　上京住

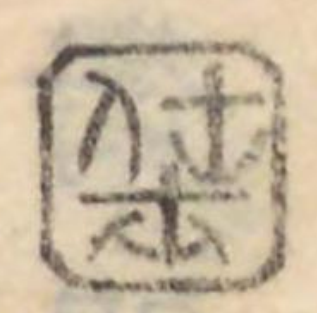
七五郎（姓名未詳　升屋忠左衛門弟子）　京柳馬場押小路上ル所ニ住

安右衛門（小森氏　後藤勘兵衛弟子）　上京ニ住

安房（平田氏稱ニ市左衛門　阿州徳島紙屋町ニ住）　（象眼鍔師也　平田氏四代目ナリ）

ガラス使用

安長　（内田氏　江戸ノ住）（至テ手ヅヨキ彫ナリ装劍家ニテ武士向ト云フ作ナリ）

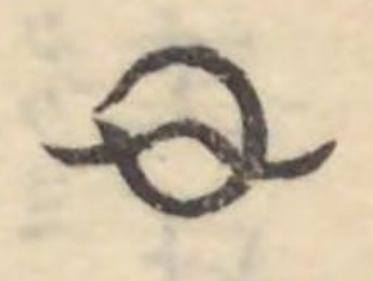
久隨  （姓氏等未詳　號ニ不知堂　江戸ノ住）

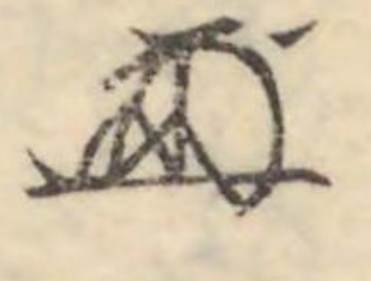
久次　（姓氏等未詳　長州萩ノ住）

仁兵衛　（同上ニ　京二条御幸町）

平右衛門　（後藤氏　大坂ノ住）

庄兵衛　（姓氏等未詳　江州膳所ノ住）

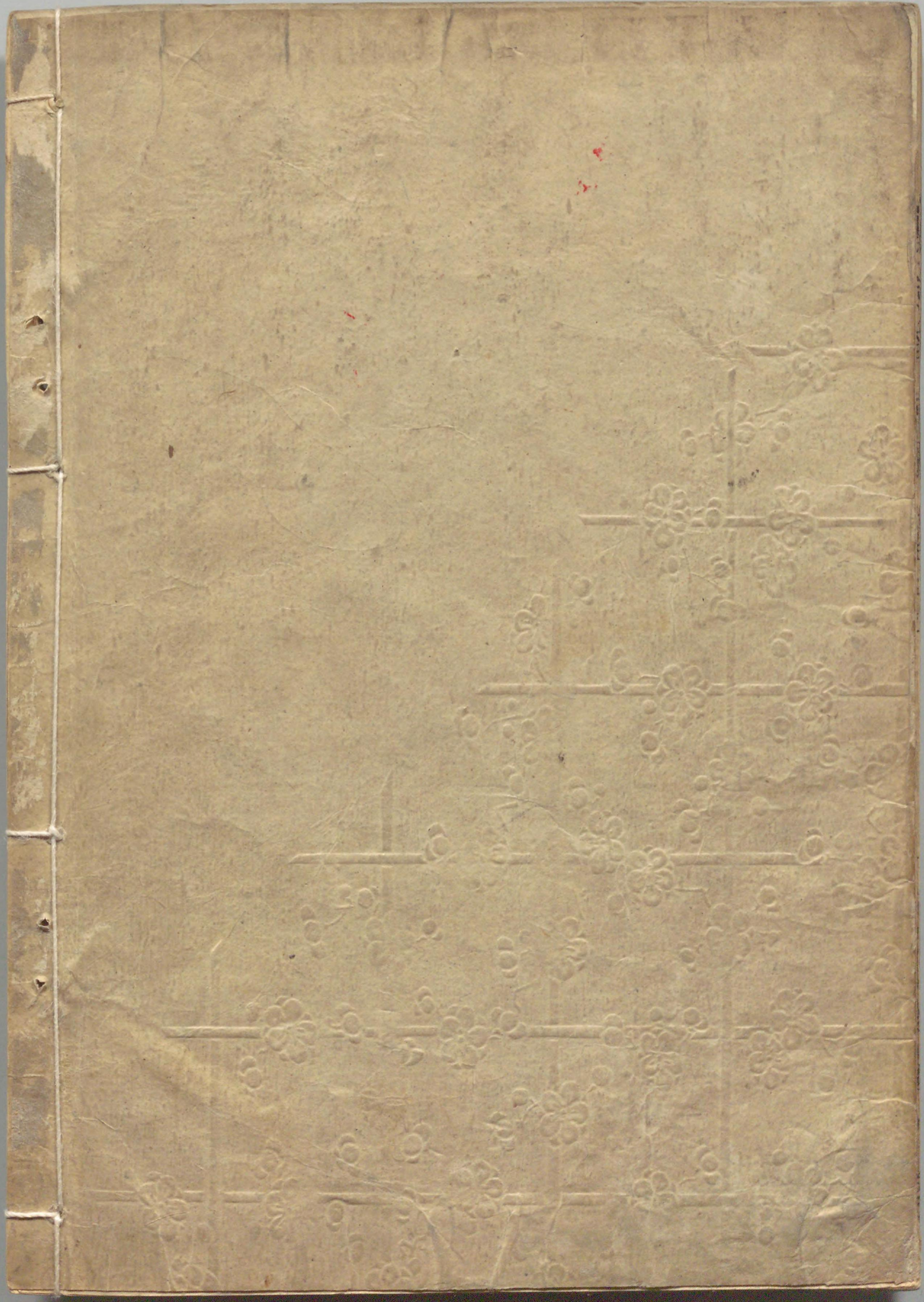
政信  （金子氏　居住未詳）

友之  （中井氏　稱善兵衛　長州萩府細工町住）

甚助　（赤尾氏　越前ノ住）

装劍奇賞巻之四終

ガラス使用



ガラス使用